

比較文学比較文化コース

|| 石原 剛

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・“Memory of American Classics: The Legacy of Mark Twain in US School Textbooks, 1930s-1940s” *The Japanese Journal of American Studies*. No. 29, アメリカ学会, pp. 23-44, 2018年6月.

(3) 学会、研究会発表

- ・「空という快楽——アン・モロウ・リンドバークの飛行と東アジア」日本英文学会第90回全国大会シンポジウム(司会・講師) 2018年5月、於：東京女子大学.
- ・The 2nd International Forum of the Japan Mark Twain Society (日本マーク・トウェイン協会主催、第二回国際フォーラムシンポジウム(司会・モデレーター) 2018年11月、於：石川県金沢市ITビジネスプラザ武蔵.

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「トウェイン、マーク」『赤い鳥事典』赤い鳥事典編集委員会編, p. 256, 柏書房, 2018年8月.
- ・「書評: 福井崇史著『外見の修辞学——19世紀アメリカ文学と人の「見た目」を巡る諸言説』」『國學院雑誌』119巻12月号, pp. 72-75, 2018年12月.
- ・「いまを生きるマーク・トウェイン」『ふくふく本棚』福音館書店Webマガジン, 2019年1月.
- ・“A Note on the 2nd International Forum of the Japan Mark Twain Society in Kanazawa.” *Mark Twain Studies* Vol. 5, The Japan Mark Twain Society, pp. 10-14, 2019年3月.
- ・「書評: 大井浩二『米比戦争と共和主義の運命——トウェインとローズヴェルトと《シーザーの亡霊》』」『アメリカ文学研究』55号, 日本アメリカ文学会, pp. 19-25, 2019年3月.

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・〈制作協力〉グレーテルのかまど「マーク・トウェインのコーンブレッド」インタビューと番組制作への協力, NHK教育テレビ2018年7月.

2. 教育実績

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

Introduction to American Culture、アメリカ文化史、基礎充実英語、英米文学語学演習(早稲田大学教育学部)、アメリカ文学特論、アメリカ文学演習(早稲田大学教育学研究科)

|| 伊藤 徳也

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「遍在する良い頹廃——部分と全体の審美関係」(『中国21』vol. 50、愛知大学現代中国学会, pp. 95-109)

- ・「『生活の芸術』論序説」(『周作人研究通信』第9号、周作人研究会、pp. 17-28)
 - ・「『西山小品』の諸問題——日中近代文学史における」(『周作人研究通信』第8号、周作人研究会、pp. 1-12)
 - ・「魯迅『野草』のタイトル命名の心境—秋吉收『魯迅 野草と雑草』に触れて—」(『周作人研究通信』第8号、周作人研究会、pp. 13-17)
- (3) 学会、研究会発表
- ・「第一回周作人研究学術シンポジウム」司会、2018年7月7-8日、早稲田大学早稲田キャンパス[中国語]
 - ・発表「『北斗生「支那文壇無駄話」を解説する——周作人と1923年前半の日中文壇』、「第一回周作人研究学術シンポジウム」、2018年7月7-8日、早稲田大学早稲田キャンパス[中国語]
 - ・「中国近現代の知識経験と文学表現」ワークショップのパネラー、コメンテータ、2018年7月15日、愛知大学車道キャンパス[中国語]
 - ・講演「『楊逸現象』の啓示——日中の現代文学史比較」、2018年11月23日、中山大学広州キャンパス[中国語]
 - ・「『中国とグローバリズム』学術シンポジウム」パネラー、2018年11月25日、中山大学広州キャンパス[中国語]
 - ・「第6回東京—ソウル中国現代文学対話会」大会実施委員会委員長、司会、コメンテータ、2018年12月22-24日、東京大学駒場キャンパス[中国語]
- (4) 書評、記事、エッセイ、その他
- ・「『世界文学』と『世界文学史』」、『比較文学・文化論集』第36号、東京大学比較文学・文化研究会 pp. 44-48

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール、中国語
- (2) 後期課程担当科目
共通中国語、比較文化論、比較日本文化論演習
- (3) 大学院担当科目
比較文学比較文化演習

3. 学内行政業務

教養教育高度化機構(国際連携部門)兼任教員、リベラルアーツプログラム(LAP)運営委員、南京大学との大学間学術交流協定幹事教員、大学院超域文化科学専攻比較文学比較文化コース運営委員、総合研究棟管理委員会委員、外国語委員会図書委員長、総合文化研究科図書館図書委員、中国語部会図書委員

||| 今橋 映子

1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文
 1. 単著
 - ・「カタログアーカイブの形成と展覧会批評の磁場—東京大学駒場博物館資料室の軌跡と学術教育活動の実践—」(『Fashion Talks...』[服飾研究]第6号、2018年10月31日、pp. 26-33)

- ・「明治大正期日本のアートドキュメンテーション——美術批評家・岩村透による国内外美術情報の構築とその思想(下)」(『超域文化科学紀要』第23号、2018年10月、pp. 142-172)
- 2. 共著
 - ・「東大比較文学會 展覧会カタログ評院生委員会 CatalTo2016 開催報告」(西田桐子・松枝佳奈・今橋映子)(『比較文学研究』第104号 [Le Rond-Point]、2018年11月、pp. 166-170)
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
 - ・「ワールドワイドオプタカラヅカ」(『凱旋門』)(インタビュー)(『歌劇』2018年6月号、2018年6月、pp. 109-111)
- 2. 教育実績
 - (1) 前期課程担当科目
フランス語一列①、フランス語二列(Sセメスター)、比較文化論(Aセメスター)
 - (2) 後期課程担当科目
比較日本文化論演習(Sセメスター)、共通フランス語(2)(精読)、フランス語上級(読解)、資料・文献調査法(Aセメスター)
 - (3) 大学院担当科目
比較形象論I(Sセメスター)、比較形象論I(Aセメスター)
- 3. 学内行政業務
比較文学比較文化コース主任、大学院超域文化科学専攻運営委員、駒場博物館委員

||| 大石 紀一郎

||| 大西 由紀

- 1. 研究・研究成果の公刊
 - (1) 著書
 - 1. 単著
 - ・『日本語オペラの誕生——鷗外・逍遙から浅草オペラまで』(森話社、2018年7月、全544ページ)
 - (3) 学会、研究会発表
 - ・「歌で会話を表現すること——佐々紅華のSPレコードお伽歌劇」(日本児童文学学会5月例会、2018年5月12日、於日本フラワーデザイン専門学校)
 - (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
 - ・トークコンサート「オペレッタを語る Vol. 2「日本語訳詞上演の可能性」」ゲストスピーカー(東京オペレッタ劇場主催、2019年1月7日、於南青山マンダラ)
- 2. 教育実績
 - (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール「定型詩のテキスト分析」
 - (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
翻訳論、翻訳実習1、翻訳実習2(明星大学人文学部)

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

・『考えるとはどういうことか 0歳から100歳までの哲学入門』幻冬舎, 2018年9月(総頁数262頁).

3. 共著

・「私有から共有へ——資本主義のその先にある豊かさ」, 『Society 5.0 人間中心の超スマート社会』日立東大ラボ篇(229-240頁), 日本経済新聞出版社, 2018年10月(総頁数312頁).

(2) 論文

1. 単著

・「中島家の売薬能書板木の翻刻」, 『中島醫家資料研究』(一般財団法人中島醫家資料館編)第1巻第1号, 2018年5月, 43-73頁.

(3) 学会、研究会発表

・「誰でもできる対話の場の作り方——哲学対話によるファシリテーション」①2018年4月18日・②5月16日, 於 NHKカルチャー青山教室.

・「江戸の育児書の間観(1)～子どもはいつ“宝”となったのか」, 碧南市哲学たいけん村無我苑 哲学講座, 2018年6月16日, 碧南市哲学たいけん村無我苑.

・「江戸の育児書の間観(2)～母乳育児はどういう意味で“自然”なのか」, 碧南市哲学たいけん村無我苑 哲学講座, 2018年6月23日, 碧南市哲学たいけん村無我苑.

・*The Ethos and Nomos of Inclusion: A Philosophical Reflection on Why and How We Live with Diversity*, Summer School *Globalization and Diversity* 2018, 2018年8月3日, Georg-August-Universität Göttingen, Germany.

・「対話型哲学の可能性——教育からコミュニティづくりまで」, 第753回 浅草寺仏教文化講座, 2018年8月24日, 丸の内マイプラザ.

・「共創的な話し合いの場を作る～哲学対話という手法の意義」, 平成30年度行政研修(課長補佐級)リーダーシップ研修, 2018年11月6日, 西ヶ原研修合同庁舎.

・「愛の哲学対話」①2018年11月7日・②12月5日・③2109年1月9日, 於 NHKカルチャー青山教室.

・「対話としての哲学(1)～新しい哲学運動とその可能性」, 碧南市哲学たいけん村無我苑 哲学講座, 2018年11月24日, 碧南市哲学たいけん村無我苑 瞑想回廊.

・「対話としての哲学(2)～哲学を“体験”するワークショップ」, 碧南市哲学たいけん村無我苑 哲学講座, 2018年12月2日, 碧南市哲学たいけん村無我苑 瞑想回廊.

・「第3回 哲学対話 in グレイトヴォヤージュ」, 大学受験予備校グレイトヴォヤージュ, 2019年1月13日(日) 第1部13:00～15:00/第2部18:00～20:00, グレイトヴォヤージュ本館(沖縄県那覇市泉崎1-9-22)

・「対話型哲学の可能性～教育から地域づくりまで」, 取手ウェルネスプラザ, 2019年2月7日, 多目的ホール.

・*Design as Theory and Practice for Social Inclusion*, 「其餘の興起」第二十届文化研究年會暨國際研討會(The Rise of the Rest: A Conference of the Twentieth Anniversary of Cultural Studies Association), 2019年3月10日, 台湾国立交通大学.(基調講演)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
ドイツ語1列(Sセメ)
- (2) 後期課程担当科目
現代思想(Aセメ)
- (3) 大学院担当科目
文化コンプレキシティ演習IV(歴史・記憶・教育I)(S・Aセメ)、日独研究特殊研究、日独研究論I・II、多文化共生・統合人間学実験実習II(S・Aセメ)、Normative Basis of Global Society(Aセメ)
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
ヨーロッパ地域の社会と文化(帝京大学)、哲学(東京女子医科大学)

3. 学内行政業務

ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)執行委員、日独共同大学院(IGK)コーディネーター、多文化共生・統合人間学プログラム(IHS)運営委員、「格差・人権」ユニットリーダー、共生のための国際哲学研究センター(UTCP)センター長、連携機構ヒューマニティーズセンター(HMC)運営委員。

||| Hermann Gottschewski

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
2. 編著
 - ・『平成26～30年度日本学術振興会科学研究費補助金研究成果報告書 近代日韓の洋楽受容史に関する基礎研究 —— お雇い教師フランツ・エッケルトを中心に ——』(192頁、その中でゴチェフスキ著は9～42頁、133～162頁、175～189頁)
- (2) 論文
 1. 単著
 - ・„Die Entwicklung der modernen Musikforschung und des Faches Musikwissenschaft als nationale Disziplin in Japan“, in: *Wege zur Musikwissenschaft*, hg. von Melanie Wald-Fuhrmann und Stefan Keym, 2018, S. 148–164
- (3) 学会、研究会発表
 - ・シンポジウム『「明治150年」と音楽文化——精神の変容と西洋音楽』パネリスト、洋楽文化史研究会第97回例会、東京大学 2018年11月24日
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
 - ・作曲 *Studie mit bewegten Sinustönen für Computer und 8 Lautsprecher*, 12分、2018年9月12日フライブルクで初演
 - ・作曲 *Sommerabend. 10 Variationen über ein Thema von Hans-Christoph Neuert für vier Lautsprecher*, 10分、2018年11月29日フライブルクで初演

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
ドイツ初級(演習、通年)、古典語初級(ラテン語、通年)、比較文化論(講義題目: ベートーヴェンの器楽作品におけるソナタ形式、Sセメスター)

(2) 後期課程担当科目

比較文化論I(講義題目:音楽論における「音階」(Tonsystem)、S-semester)、芸術作品分析法II(講義題目:歌曲における韻律の問題、A-semester)、ラテン語(前期課程と共通)

(3) 大学院担当科目

比較文学比較文化演習II(講義題目:Musikalische Zeitgestaltung、通年)

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

ラテン語の世界(ラジオ講座、放送大学)、日本音楽の近代(放送大学千葉学習センター面接授業)

3. 学内行政業務

オルガン委員会委員長、ピアノ委員会委員、後期課程比較文学比較文化コース副主任

||| 齊藤 渉

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

・Teruaki Takahashi / Tilman Borsche (eds.): *Bildung nach Humboldt. Erfolg, Krise und Zukunft einer Idee in Ungarn, Finnland und Japan. Zum 50-jährigen Jubiläum der Dokkyo Universität zu Soka*. Alber (Freiburg/München) 2018

(3) 学会、研究会発表

・「『第三の男』? 『ベルリン月報』グロシinger 書簡の啓蒙観をめぐって」(科研費共同研究「グローバル市場とナショナリズムの思想史的起源: 18世紀歴史叙述の再検討」(研究代表者: 小谷 英生) 定例研究会、2019年3月19日(火)、立教大学(池袋キャンパス))

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

ドイツ語初級一列(S・A semester)、比較思想(S semester)

(2) 後期課程担当科目

現代哲学特殊研究II(A semester)

(3) 大学院担当科目

文化コンプレキシティ演習V(欧州公共秩序思想)(S・A semester)

3. 学内行政業務

ドイツ語部会副教務委員、前期TLP運営委員会(ドイツ語委員)、紀要編集委員

||| 桜井 英治

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

・“Medieval Japan’s Commercial Economy and the Estate System.” Goodwin, Janet R. and Joan R. Piggott, ed., *Land, Power, and the Sacred: the Estate System in Medieval Japan*. Honolulu: University of Hawai’i Press, 2018, pp. 37–57

(3) 学会、研究会発表

- ・報告「土倉と中世法」比較国制史研究会(2018年7月8日北大東京オフィス)
- ・報告「中世日本における労働時間と賃金」シンポジウム「中世日本の時間意識」(2018年8月3日山口大学時間学研究所)
- ・報告「流通史のなかの桃山茶陶」特別展「新・桃山の茶陶」シンポジウム(2018年11月17日根津美術館)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・『『応仁記』捏造説の収束に寄せて』『歴史学研究』982号、2019年、35-41、50頁

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

初年次ゼミナール文科・歴史と文化

(2) 後期課程担当科目

日本歴史文化論・論文指導

(3) 大学院担当科目

文化コンプレキシティ演習Ⅴ(文明過程論Ⅰ・Ⅱ)

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

中世社会論(人文社会系研究科)

3. 学内行政業務

学際日本文化論コース主任、AIKOM専門委員会委員

||| 佐藤 光

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・「柳宗悦のブレイク」、多摩美術大学芸術人類学研究所公開研究会「鈴木大拙と現代芸術」第2回(東京、多摩美術大学)、2018年6月1日
- ・「総合芸術としての書物——ブレイク、モリス、柳宗悦」、日本民藝館「書物工芸——柳宗悦の蒐集と創造」記念講演会(東京、日本民藝館)、2018年8月4日
- ・「寿岳文章のウィリアム・ブレイク研究」、NPO法人向日庵講演会(京都、キャンパスプラザ京都)、2019年2月23日

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「彫琢された文語の木鐸——川野芽生さんの歌壇賞受賞に寄せて」、『教養学部報』第603号(東京大学教養学部、2018年10月1日)、1面
- ・(書評)リンダ・コリー著 中村裕子・土平紀子訳『虜囚——一六〇〇～一八五〇年のイギリス、帝国、そして世界』、『英文学研究』第95巻(日本英文学会、2018年12月1日)、82-86頁
- ・「直観とは何だろうか——ウィリアム・ブレイクから柳宗悦へ」、『民藝』第793号(日本民藝協会、2019年1月1日)、11-15頁
- ・「世界文学に対する一つの態度——「言葉のお守りの使用法」を手掛かりに」、『比較文学・文化論集』第36号(東京大学比較文学・文化研究会、2019年3月31日)、49-53頁

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・Wayne C. Ripley with Works in Romance Languages Collected and Compiled by Fernando Castanedo and Works in Japanese Collected and Compiled by Hikari Sato,

‘William Blake and His Circle: A Checklist of Scholarship in 2017’, *Blake/ An Illustrated Quarterly* 52 (University of Rochester, 2018),
<http://blake.lib.rochester.edu/blakeojs/index.php/blake/index>

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
英語中級、総合科目比較文学
- (2) 後期課程担当科目
比較研究の理論、専門英語、比較日本文化論II
- (3) 大学院担当科目
多元文化協力論I
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
英語文学(詩)I・II(東京女子大学現代教養学部)

3. 学内行政業務

英語部会予算委員、進学情報センター運営委員

田口 一郎

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
3. 共著
・『『列朝詩集小傳』の研究』(編者：野村鮎子，他執筆：野村鮎子・松村昂・和泉ひとみ)、汲古書院、2019年1月、368-404頁、424-436頁
- (2) 論文
1. 単著
・「荻生徂徠詩窺管(一)」、『颯風』57号、2018年4月、1-23頁

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
古典中国語、ことばと文学II
- (2) 後期課程担当科目
東アジア文化論、東洋古典学
- (3) 大学院担当科目
比較詩学II
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
中国語学中国文学特殊講義V・XI(人文科学研究科)、古文辞派の文学(王世貞詩選読)(1)
(2)(文学部)

3. 学内行政業務

紀要編集委員

谷口 洋

1. 研究・研究成果の公刊

- (3) 学会、研究会発表
・「從“賢人失志”到“士人守志”—兩漢之交紀行、述志賦中的自我敘述」第十三屆國際辭賦

学術研究会 2018年10月 湖南大学

- ・「中国辞賦可以比作古希臘敘事詩嗎? : 紀念清水茂教授逝世十周年」 湖南大学中国語文
学院客座教授座談会 2018年10月 湖南大学

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール文科、東洋古典学、日本文化論Ⅱ
- (2) 後期課程担当科目
学際日本文化論演習Ⅱ、日本語文化論
- (3) 大学院担当科目
文化コンプレキシティ演習Ⅱ、社会の自立と共同Ⅱ
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
楚辞「天問」講読(人文社会系研究科)、中国語学中国文学特殊講義(文学部)

3. 学内行政業務

比較文学比較文化コース運営委員、「人間の安全保障」プログラム運営委員

田村 隆

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
 3. 共著
 - ・『源氏物語 四』(編集協力、岩波文庫、2018年9月)
 - ・『源氏物語 五』(編集協力・解説、岩波文庫、2019年3月)
- (2) 論文
 1. 単著
 - ・「禁止と愛読の時代—昭和初期の『源氏物語』受難—」(『日本教育史往来』第233号、2018年4月)
 - ・「とぞ本にはべめる」(『UP』第547号、2018年5月)
 - ・「飛ぶ螢」(『観世』2018年7月)
 - ・「一高のオリーブ」(『東京大学環境報告書2018』p. 19(6-02)、2018年9月)
 2. 共著
 - ・「学部はどう並んでいるか」(山口輝臣氏との共著)(『現代思想』第46巻第15号、2018年10月)
 - ・「法医工文理農経養教薬」(山口輝臣氏との共著)(『教養学部報』606号、2019年1月8日)
- (3) 学会、研究会発表
 - ・「パスカル・キニャールとの対話」(2018年5月12日、東京大学駒場キャンパス)
 - ・「正解の先へ〜二つの錦帯橋と、いや高き岩国山〜」(2018年11月2日、山口県立岩国高等学校)
 - ・「『源氏物語』写本の表記」(科研東アジア古典学セミナー「東アジア古典学のフロンティア—書記表現から見えてくるもの—」2019年3月15日、東京大学駒場キャンパス)
 - ・「九州大学本『伊勢物語』の鶴亀」(第8回「書物同好者の相談会ニ懇談会」2019年3月23日、九州大学医学図書館)
- (4) 書評、記事、エッセイ、その他
 - ・「教科別東大教員からのエール」(『東大オモテウラ』東京大学新聞社、2018年7月)

・『駒場の古典籍』(展示パンフレット、共著、「駒場の古典籍」展示チーム、2018年11月)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
古典日本語、日本語日本文学Ⅰ(理科生)、人文科学ゼミナール
- (2) 後期課程担当科目
日本文化資料読解Ⅱ
- (3) 大学院担当科目
基層文化形成論Ⅰ
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
Special Lecture on Japanese StudiesⅠ(日越大学)

3. 学内行政業務

教養教育高度化機構アクティブラーニング部門兼務教員、環境委員、教養学部オルガン委員、美術博物館委員、日越大学担当教員(Aセメスター)、国文・漢文学部会時間割担当、学際日本文化論コース教務担当

||| 出口 智之

1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文
 1. 単著
 - ・「挿絵無用論と明治中期の絵入り新聞小説—饗庭篁村「小町娘」・尾崎紅葉「笛吹川」「青葡萄」の挿絵—」、『日本文学研究ジャーナル』第9号(古典ライブラリー、2019年3月)、12～26頁
 - ・「絵入り新聞小説としての宮崎三昧「塙団右衛門」「鉄牛遺事」—挿絵から小説を見るということ—」、『言語社会』第13号(一橋大学大学院言語社会研究科、2019年3月)、132～149頁
 - ・「〔新出〕石橋思案書翰(巖谷漣宛四通)翻印と解題」、『湘南文学』第54号(東海大学日本文学会、2019年3月)、66～84頁
 2. 共著
 - ・荒井真理亜・高野奈保・多田蔵人・出口智之・梶由美・松本和也「〔新出〕石井鶴三宛北沢楽天書簡等資料九十五点—翻印と紹介—」、『信州大学附属図書館研究』臨時増刊第二号(信州大学附属図書館、2019年2月)、1～158頁
- (3) 学会、研究会発表
 - ・「近世絵入り文芸の残照—近代口絵・挿絵に残る江戸—」、法政大学江戸東京研究センターProject2江戸東京のユニークさ・シンポジウム「追憶のなかの〈江戸〉」、法政大学、2019年2月21日
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
 - ・「第三十一回例会 印象記」、『樋口一葉研究会会報』第53号(樋口一葉研究会、2018年10月)、1～3頁

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール文科、古典日本語、ことばと文学Ⅲ、日本語日本文学Ⅰ

- (2) 後期課程担当科目
日本文化研究法Ⅱ、学際日本文化論演習Ⅲ
- (3) 大学院担当科目
ジャンル交渉論Ⅰ
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
近代文学特講、卒業論文1、卒業論文2(東海大学文学部)、東アジア文化研究シリーズ講座(清華大学、集中講義)

寺田 寅彦

1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文
 - 1. 単著
 - ・「モーパッサン短編作品集と写真製版技術の挿絵」(マリアンス・シモン=及川[編]『テクストとイメージ』所収、2018年、77-96頁)
- (3) 学会、研究会発表
 - ・「セザンヌとゾラ：記憶の場」(国際シンポジウム「セザンヌとゾラの創造的関係を再考する」、2018年12月2日、京都工芸繊維大学)
 - ・“Le catalogue d'exposition japonais mis à l'épreuve à l'ère du numérique” (Séminaire Artl@s、2019年2月7日、Ecole normale supérieure de Paris)
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
 - ・「学問の図像とかたち イラストから読む教科書」(東京大学出版会『UP』第546号2018年4月～第557号2019年3月)
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
 - ・公益財団法人フランス語教育振興協会編『実用フランス語技能検定試験2018年度版仏検公式ガイドブック2級』(駿河台出版社、2018年、第2部、120-166頁分担)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
フランス語初級演習、国際研修(TLPフランス語夏季研修、春季研修)
- (2) 後期課程担当科目
比較日本文化論Ⅰ、比較文学論Ⅱ、フランス研究演習Ⅹ
- (3) 大学院担当科目
比較ナラトロジーⅠ
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
フランス文学特講(青山学院大学)

3. 学内行政業務

グローバルコミュニケーション研究センター長、グローバルリーダー育成プログラム室員、PEAK-GPEAK 統括室員、比較文学比較芸術コース主任、比較文学比較文化コース副主任、後期教養科目運営委員、前期TLP委員、後期TLP委員、教養学部報委員、ピアノ委員、オルガン委員、美術博物館委員

|| 徳盛 誠

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「一条兼良における『日本書紀』「神代」解釈の態度——「神」解釈をめぐる」、『超域文化科学紀要』第23号、1-24頁。

(3) 学会、研究会発表

- ・「[テキストの運動]としての書紀注釈——清原宣賢の試みをめぐる」、セミナー「東アジア古典学の方法 第49回」、2018年9月14日、場所：カリフォルニア大学ロサンゼルス校
- ・「『日本書紀纂疏』と『日本書紀神代卷抄』とが問うもの」、研究会「東アジア古典学のフロンティア—書記表現から見えてくるもの—」、2019年3月16日、場所：東京大学駒場キャンパス

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「留学生相談室の宮内先生」、『教養学部報』第605号

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

初年次ゼミナール文科

(2) 後期課程担当科目

テキスト精読法Ⅲ

(3) 大学院担当科目

神話と文化Ⅰ

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

比較文学・文化講義(二松学舎大学)

3. 学内行政業務

国際交流センター副センター長、奨学委員、比較文学比較芸術コース教務担当

|| 永井 久美子

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

- ・「暴露の愉悦と誤認の恐怖——「病草紙」における病者との距離」牛村圭編『文明と身体』臨川書店、平成30年10月31日、pp. 9-37

(3) 学会、研究会発表

- ・「『源氏物語』幻巻の四季と浦島伝説」ワークショップ「和漢の故事人物と自然表象——16、7世紀の日本を中心に」於・東京大学東洋文化研究所(東京都文京区)、平成30年12月24日
- ・「近代「美人」言説における小野小町」東京大学ヒューマニティーズセンター第2回オープンセミナー 於・東京大学東洋文化研究所(東京都文京区)、平成30年10月12日
- ・セミナー 東アジア古典学の方法 第48回 著者と語る(3)加須屋誠 ディスカッション 科研基盤研究(A)「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教

育の加速」(研究代表者・齋藤希史) 於・東京大学大学院総合文化研究科(東京都目黒区)、平成30年7月27日

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「施設・組織紹介 進学先を考えると——進学情報センターの利用」(『教養学部報』第599号、東京大学教養学部、平成30年4月2日、p. 3) ※青木優氏との共著
- ・「芳賀徹先生の日本芸術院賞・恩賜賞受賞をお祝いする会参加記」(比較文学比較文化研究室編「比較文学比較文化研究室通信」第39号、平成30年8月31日発行、pp. 36-38)
- ・「駒場点景——キャンパスの歴史的建造物と猫と」(『進学情報センターニュース』第81号、東京大学教養学部進学情報センター、平成30年9月7日、p. 1)
- ・「休業期間こそ繁忙期——進学情報センター勤務雑感」(『進学情報センターニュース』第81号、東京大学教養学部進学情報センター、平成30年9月7日、pp. 2-3)
- ・「身体(からだ)と向き合う一時間——QOMジム—利用者の声」(『教養学部報』第603号、東京大学教養学部、平成30年10月1日、p. 2)
- ・『学内広報』第1512号表紙写真 東京大学広報室、平成30年7月25日
- ・『淡青』第37号 p. 20写真(5枚) 東京大学広報室 東京大学本部広報課、平成30年9月10日
- ・東大駒場友の会 2019年度学事カレンダー写真(6枚)、キャプション(東大駒場友の会、平成31年3月31日)
- ・東京大学ホームページUTokyo FOCUS FEATURES 掲載インタビュー「世界三大美人言説から見えてくる人々の「認識」の作られ方 小野小町は本当に美人だったのか」« A legendary beauty? Dissecting popular myths about ancient waka poet Ono no Komachi »、取材・文 小竹朝子、東京大学広報室、平成31年3月7日
日本語版 https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/features/z0508_00096.html
英語版 https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/en/features/z0508_00097.html

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール文科
- (3) 大学院担当科目
比較心性論
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
日越大学協力プログラム Special Lecture III

3. 学内行政業務

進学情報センター運営委員、教務委員会委員、学生相談協議会委員、オルガン委員会委員、駒場地区過半数代表者副代表

||| 古荘 真敬

1. 研究・研究成果の公刊

- (3) 学会、研究会発表
 - ・「「為す必要も為さない必要もないこと」に満たされた地平としての世界とは何か? —— 串田純一氏著『ハイデガーと生き物の問題』をめぐって」(ハイデガー研究会特別企画、串田純一著『ハイデガーと生き物の問題』合評会、於 立正大学品川キャンパス) 2018年7月29日。

- ・「[「エレメント」を問うとは、どういうことか? — 松永澄夫著『経験のエレメント』をめぐって」(哲学会第57回研究発表大会シンポジウム「経験の構造——松永哲学を巡って」, 東京大学本郷キャンパス)2018年11月4日.
- ・「[「祈り」について ~ 生の意味の変容をめぐる試論」(間文化現象学ワークショップ「間文化性と宗教」(立命館大学間文化現象学研究センター, 科研費・基盤(B)「間文化性の理論的・実践的研究——間文化現象学の展開」主催), 於 立命館大学衣笠キャンパス)2019年3月17日.

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
初年次ゼミナール
- (2) 後期課程担当科目
現代哲学特殊研究III/専門ドイツ語、現代哲学/超域文化科学高度教養
- (3) 大学院担当科目
比較文学比較文化演習V、超域文化科学演習、超域文化科学特別演習
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
文化の哲学(リレー講義のうち2コマ)(早稲田大学文化構想学部)

3. 学内行政業務

研究科長選出推薦委員会委員、国際人材養成(GSP)運営委員、総合文化研究科図書委員

||| 前島 志保

1. 研究・研究成果の公刊

- (3) 学会、研究会発表
 - ・“For What Purpose the Company Incorporates — Cases of Japanese Publishers in Early 20th Century.” (with Takashi SHIMIZU) Law and Society Association (LSA) 2018 Conference (Sheraton Centre Toronto Hotel/カナダ シェラトンセンタートロントホテル). June 6, 2018.
 - ・2018 Asian Studies Conference in Japan (ASCJ). (International Christian University/国際基督教大学) パネル “Politics and Education in Japan’s Publishing History” (Session 13: Room 203). July 1, 2018. discussant(討論者).
 - ・“Modern and Premodern: News Media in Japan” キャンパス・アジア サマープログラム(東京大学 駒場 I キャンパス KIBER314) 2018年8月2日。
 - ・“Modern and Premodern: History of Edo/Tokyo, History of Ginza” キャンパス・アジア サマープログラム(東京大学 駒場 I キャンパス KIBER314) 2018年8月2日。
 - ・「[「朝日会館」の成り立ちと『会館芸術』の雑誌としての意義」大阪メディア文化史研究会(関西学院大学梅田キャンパス) 2018年8月10日(招待講演)。
 - ・「[「会館芸術」の変遷」朝日会館・『会館芸術』研究会(東京大学 駒場 I キャンパス 8-319)2018年11月24日。
 - ・「[「会館芸術」の変遷から考える——文化の大衆化からグローカリゼーションまで」シンポジウム:文化装置としての朝日会館・『会館芸術』(大阪大学 豊中キャンパス 大阪大学会館 アセンブリーホール) 2018年12月2日。
 - ・「近代日本出版文化史——出版・読書文化の大衆化について」(招待講演)(Санкт-Петербургский государственный университет/ロシア サンクトペテルブルク大学) 2018

年12月7日～15日。

12月10日：第一回「文字というメディアの誕生」、第二回「前近代における出版文化の発展」、12月11日：第三回「新聞の導入」、第四回「雑誌の導入」、12月12日：第五回「大衆的な編集手法の発達1：文体と記事ジャンル」、第六回「大衆的な編集手法の発達2：読者の活用」、12月13日：第七回「大衆的な編集手法の発達3：視覚表現」、第八回「大衆的な編集手法の発達4：視覚表現による報道」、12月14日：第九回「大衆的な編集手法の発達5：まとめ・娯楽性・商業性」、第十回「大衆的な手法の発達6：大衆化の影響」・「誰が為に会社になるのか？——20世紀初頭における出版社の株式会社化」（清水剛氏との共同発表）Interdisciplinary Workshop of Economics and Institutions (IWEI) 第16回研究会（武蔵大学 教授研究棟02-E会議室）2019年3月8日。

- ・Session 19: “Salaryman Dreams: Masculine Leisure, Consumer, and Cinema Cultures in Postwar Japan.” Association for Asian Studies (AAS) 2019 Annual Conference (Sheraton Denver Down Town Hotel／米国 シェラトンデンバーダウンタウンホテル). March 21, 2019. Chair(司会), discussant(討論者).

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・『中日新聞』文化特集連載「輝きたくて。女性誌タイムトラベル」(執筆担当記者：川原田喜子氏) 取材協力(アドバイザー、コメンテーター) 2018年7月～12月：
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(1) 時代を映す少女の宝」『中日新聞』2018年7月13日(金) アドバイザー、コメンテーター
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(2) 「女学新誌」誕生 男性優位の思想源に」『中日新聞』2018年7月14日(土) アドバイザー
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(3) 婦人雑誌と少女雑誌 生活感に主婦が共感」『中日新聞』2018年7月20日(金) アドバイザー
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(4) 大正一昭和初期 美しさ求めた「モガ」」『中日新聞』2018年8月24日(金) アドバイザー、コメンテーター
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(5) 大正一昭和初期 芸誌から思想誌へ」『中日新聞』2018年8月25日(土) アドバイザー
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(6) 戦時中 暴走する国に併走」『中日新聞』2018年9月21日(金) アドバイザー、コメンテーター
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(7) 戦後復興期 性表現で自由を謳歌」『中日新聞』2018年9月22日(土) アドバイザー、コメンテーター
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(8) 1950～60年代(1) 女性週刊誌の誕生」『中日新聞』2018年10月19日(金) アドバイザー
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(9) 1950～60年代(2) 少女漫画誌の誕生」『中日新聞』2018年10月20日(土) アドバイザー
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(10) 1970～80年代 旅するアンノン族」『中日新聞』2018年11月16日(金) アドバイザー
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(11) 1990年代～ 決め手は「私らしさ」」『中日新聞』2018年11月17日(土) アドバイザー
 - 「輝きたくて。女性誌タイムトラベル(12) 女性誌の未来」『中日新聞』2018年12月14日(金) アドバイザー、コメンテーター
- ・『「会館芸術」復刻版 第Ⅰ期 戦前篇・第Ⅱ期 戦中篇・第Ⅲ期 戦後篇』執筆 UTokyo BiblioPlaza(自著紹介)2018年2月校了。

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・特別講演 共催(東京大学大学院人文社会系研究科現代文芸論/スラヴ語スラヴ文学研究室・東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化研究室)“Meaning in Action: Outline of an Integral Theory of Culture” by Professor Rein Raud (Tallinn University, former [2011-2014] President of the European Association of Japanese Studies) (東京大学本郷キャンパス 法文1号館219番教室) 2018年11月19日。
- ・展覧会「朝日会館と京阪神モダニズム——戦前・戦中・戦後」展(大阪大学豊中キャンパス 大阪大学会館 歴史展示室・セミナー室1, 2) 企画・展示・広報・パネル執筆(「あいさつ」1パネル、「メンバー紹介、謝辞」1パネル、「雑誌」セクション10パネル、「舞踊・芸能」セクション1パネル、「美術」セクション3パネル) 2018年11月29日～12月9日。
- ・研究発表・シンポジウム「朝日会館と京阪神モダニズム——戦前・戦中・戦後」(パネル1「朝日会館における越境 モダニズムとジャンル」、パネル2「朝日会館における動員と大衆」、シンポジウム「文化装置としての朝日会館・『会館芸術』」)(大阪大学豊中キャンパス 大阪大学会館 アセンブリーホール) 企画・運営・広報 2018年12月2日。

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

学術フロンティア講義 (PEAK)

(2) 後期課程担当科目

比較文学比較文化特殊研究Ⅰ、比較文化論Ⅲ(文化・思想研究特論Ⅱ)、Liberal Arts for Advanced Studies I(a)、テキスト精読法Ⅰ、国際日本研究文献演習Ⅰ、国際日本研究文献演習Ⅱ

(3) 大学院担当科目

多元文化構造論Ⅰ(S, A)

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

文化・人間情報学特論XXVI(情報学環)、文化・人間情報学特論XXVIII(情報学環)、Introduction to Cultural History of Japan(法政大学)、Media and Modernity in Japan(法政大学)

3. 学内行政業務

教養学部70周年記念出版WG、教養学部70周年記念シンポジウムWG、国際日本研究(JEA)コース主任、JEA運営委員、EALAI執行委員、JEA/GSP助教人事WG、PEAK前期2年生担任、JEA/GSP短期集中講義提供者(特任教員・客員教授)招聘(情報学環：駒場学府関連施設運営委員、施設整備委員 駒場WG、ハラスメント予防担当委員、駒場カリキュラム運営委員)

||| 三浦 篤

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

・『エドゥアール・マネ 西洋絵画史の革命』KADOKAWA、2018年

(2) 論文

1. 単著

・「モネの《草上の昼食》——レアリスムと印象派のはざままで」『プーシキン美術館展 旅するフランス風景画』カタログ、東京都美術館、2018年、pp. 142-149。

- ・ Atsushi Miura, « The Triangle of Modern Japanese Yōga — Paris, Tokyo, East Asia — », Toshio Watanabe and Eriko Tomizawa-Kay (ed.), *East Asian Art History in Transnational Context*, March 2019, pp. 65–82.
- (3) 学会、研究会発表
 - ・ 「クロード・モネの《草上の昼食》——その謎と魅力について」、『プーシキン美術館展』記念講演会、2018年6月2日
 - ・ 「西洋の戦争表象とその広がり——19世紀フランス絵画から藤田嗣治の戦争画へ」、第44回大原美術館美術講座 シリーズ戦争と美術Ⅱ 東西・古今、倉敷国際ホテル、2018年7月28日
 - ・ Atsushi Miura, « Collectionneurs japonais de peinture moderne française dans la première moitié du XXe siècle », Colloque international: La formation et la diffusion des collections d'art français dans les espaces globaux, 1870–1950, Université de Tokyo, 21 septembre 2018.
 - ・ 「19世紀フランス絵画史におけるドービニー」、ドービニー展記念シンポジウム、山梨県立美術館、2018年11月17日
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
 - ・ 展覧会評『朝日新聞』夕刊／「プラド美術館展」(2018年5月7日)／「ミラクル エッシャー展」(2018年6月19日)／「ルドン展」(2018年8月21日)／「ボナール展」(2018年10月16日)／「ムンク展」(2018年12月11日)／「岡上淑子展」(2018年2月12日)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
総合科目A「美術論」(S)、総合科目B「比較芸術」(A)
- (2) 後期課程担当科目
芸術作品分析法I(S)、比較芸術論II(A)／フランス研究演習VI(A)
- (3) 大学院担当科目
比較文学比較文化演習III(S/A)
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
19世紀アカデミスム絵画研究(大学院人文社会系研究科)、美術史学特殊講義IV(文学部)

3. 学内行政業務

超域文化科学専攻カリキュラム委員、フランス語・イタリア語部会選書委員、駒場博物館館長、シンポジウム「宇佐美圭司“きずな”から出発して」担当教員、文化資産管理・相談班WGメンバー、芸術創造連携研究機構参加教員

||| 渡辺 美季

1. 研究・研究成果の公刊

- (2) 論文
 1. 単著
 - ・ 「隠蔽政策の展開と琉清日関係」(『琉大史学』20、2018年9月、P. 51–70)
- (3) 学会、研究会発表
 - ・ 「日明「勘合」交渉中的琉球與台灣(日明「勘合」交渉と琉球、そして台湾)」(2018 台日明清研究交流合宿研習營、台北：中央研究院、2018/08/21)
 - ・ 「在琉日關係中的明清時期詔勅文書(琉日關係における明清詔勅)」(第12回琉球・

中国交渉史に関するシンポジウム[中国第一歴史档案馆主催]、北京：国二招賓館、2018/10/29)

- ・“The Oldest Map Becomes the Newest: Takemori Dōetsu’s 1696 Map of the Ryūkyū Kingdom” (The Seventh International Symposium of Inter-Asia Research Networks, “Old Maps in Asia: Basic Information and Perspective for New Research,” Toyo Bunko (東洋文庫), 2018/12/09)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「琉日関係における明清詔勅〈琉球・中国交流史シンポ参加報告・下〉」(琉球新報朝刊、2018年11月21日)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

初年次ゼミナール、歴史Ⅰ、比較地域史

(2) 後期課程担当科目

学際日本文化論演習Ⅳ

(3) 大学院担当科目

民俗社会論Ⅰ

3. 学内行政業務

グローバル共生プログラム(GHP)運営委員